

(様式2)

以下は、決算報告書の標準的な様式です。「予算と決算の差異について」においては、その差異が生じた主な理由について簡潔に記載して下さい。また、理由が複数ある場合は、影響額の大きなものから、差異の概ね50%を超えるまで記載してください。

なお、理由には、学内予算の変更によるものを含むものとします。

平成〇〇年度 決算報告書(例)

国立大学法人 〇〇大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金				
施設整備費補助金				
船舶建造費補助金				
施設整備資金貸付金償還時補助金				
国立大学財務・経営センター施設費交付金				
自己収入				
授業料及び入学金及び検定料収入				
附属病院収入				(注1)
財産処分収入				
雑収入				(注2)
産学連携等研究収入及び寄附金収入				(注3)
長期借入金収入				
計				

支出				
業務費				(注4)
教育研究経費				
診療経費				
一般管理費				
施設整備費				
船舶建造費				
産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等				(注5)
長期借入金償還金				
計				
収入－支出				

○予算と決算の差異について

- (注1) 附属病院収入については、〇〇〇〇等により予算金額に比して決算金額が△△円多額となっています。
- (注2) 雑収入については、主として〇〇〇〇の値下げにより、予算金額に比して決算金額が△△円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して△△円決算金額が多額となっています。
- (注4) 業務費については、〇〇〇〇、〇〇〇〇において、経費の節減に努めたため予算金額に比して決算金額が△△円少額となっています。
- (注5) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が△△円多額となっています。